

『笑顔あふれる魅力ある学校を目指して』  
～学校・家庭・地域の連携を基盤として～

**【2026 六日小テーマ】**

**「学校の主役はわたしたち！」笑顔あふれる学校を子供たちの手で！**

子供たちはやがて、様々な人とのつながりの中で、何かを成し遂げようとしながら生きていくことになります。

将来、子供たちが、自分らしく力を発揮できるように、第六日暮里小学校は、

- 子供たちが主体的に活動し、達成感や満足感を得られる場所でありたい。
- 子供たちが多様な「人」「もの」そして「できごと」中で、たくさんの経験を積むことができる場所でありたい。
- 子供たちが「人の役に立つ喜びと自信」「自分を信じられる喜び」を得られる場所でありたい。

と、考えます。

うまくいかないこともたくさんあるでしょう。それでよいのです。子供たちの主体的な活動を重視し、教職員が子供たちを支えていくことで、それは失敗ではなく、かけがえのない経験になります。

子供たちが自分と異なる「人・もの・できごと」と多く出会い、それを承認し合い、課題を解決していくことができる。第六日暮里小学校は、子供たちの「ウェルビーイング」(心身ともに健康で、持続的に幸福な状態)を目指します。

**学校をつくる土台「ウェルビーイング」**

常に問いかけ続けたい。子供たちにとって「楽しくて仕方がない！」場所ですか？  
楽しくて仕方がない場所に、子供は必ず来る。それが「ウェルビーイング」。  
そのために、以下の1～5を大切にします。

1 意欲！感動！その一言が子供を変える！「認める・任せる・助言する」指導  
できていることを見逃さず、具体的に認めて褒める。

「あなたが必要です！」が最上級の誉め言葉 一人一人のよさをつかみます。

「どうしたの？」からはじめます よくない行動があっても、まずは子供の話を聞きます。子供の課題を伝える時にかかる言葉こそ、教員としての腕が問われると考えます。

「言ったら評価・させたら評価」 任せる＝何もしない、ではありません。子供たちの力で成し遂げられるよう、時には励ましたり、時にはアドバイスしたり、時には一緒になって喜んだり・・・「支援と評価を一体化」させて関わります。

そこに、子供たちの幸せ「ウェルビーイング」があります。

## 2 子供たちが「まず、やってみる」主体性の重視

子供たちが「まず、やってみる！」・・・それを「自分の言動への反応・反響を実感する喜び(自己効力感)」「人の役に立つ喜びと自信(自己有用感)」そして「自分を信じられる喜び(自己肯定感)」へとつなげていきたい。そのために、

- ① 「チャレンジ(・V・)イネ!!」「失敗(o^-^o)ドンマイ」の姿勢で子供たちを応援します。
- ② 児童の主体的な活動を観察し、適切に評価します。  
そこに、子供たちの幸せ「ウェルビーイング」があります。

## 3 居場所づくり・絆づくり 心理的安全性の重視

児童相互に友達のよさを認め合う場、活躍できる場をつくります。

「自分を生かして、人を生かす。人を生かして、自分が生きる。人を大切にして、自分も大切にされる。」そこに、子供たちの幸せ「ウェルビーイング」があります。

## 4 学び合い、高め合う教職員チーム 気持ちこそそろった教職員チーム

子供たちの立場になって、授業改善を！児童理解を！指導・支援を！

「子供たちを育てたい」という気持ちをもって指導・支援をします。

そのために・・・

- 子供たちが主体的・協働的に学習を進められるよう、指導技術の向上を目指した校内研究を実施します。(国語科を中心として)
- 積極的に研修に参加して、六日小の子供たちのために有益な情報を持ち帰り、教職員チームの指導力を高め続けます。
- 学び合える高め合える「教職員OJT」を実施します。
- 「平時の生活指導」を重視しつつも、丁寧で迅速な対応を組織的に行います。

そこに、子供たちの幸せ「ウェルビーイング」があります。

## 5 単学級の強みを生かす「六日おとなチーム」

6年間同じクラス。これは大きな「強み」。子供たちが互いの個性を認めるようになり、尊重するようになり、持ち味を生かしていくようになります。合意形成をしながらどんな課題にも立ち向かっていく「こどもチーム」が作られていきます。

自分を生かして、人を生かす。人を生かして、自分が生きる。人を大切にして、自分も大切にされる。「六日こどもチーム」がよいチームになれるよう、教職員・保護者・地域の「六日おとなチーム」で応援しましょう。

こどもチームもおとなチームも、みんな仲間です。

【教職員・保護者・地域以外にも こんな方々が「おとなチーム」のメンバーです】

- 区教育委員会      ○スクールサポーター（荒川警察署）      ○近隣図書館
- 近隣幼稚園・保育園、小・中学校      ○スクールカウンセラー
- スクールソーシャルワーカー      ○登校サポートスタッフ      ○寺子屋講師
- 体験学習講師      等

## 6 今年度の目玉！ 運動会リニューアル！

全学年単学級という本校の強みを活かした「六日小的運動会」づくりに挑戦！

(詳細は近日中に別紙でお伝えします)

| 教育目標     | めざす児童像                                   | 具体的な教育活動   |
|----------|--|--|
| すすんで学ぶ子供 | 主体的に学ぶ                                   | <p>【本校の自慢・本物体験】<br/> <u>地域教材・地域人材、専門家の活用。合計30講座以上を実施。</u><br/>                     例) 商店街職業体験、江戸里神楽、雅楽、書道、華道、そろばん、折り紙、琴、鼓笛隊、なわとび、短距離走、パラ競技、プログラミング、報道、ボディーパーカッション、生物多様性、<u>鋳金、防災学習</u> 等</p> <p>【漢検チャレンジ】<br/>                     全児童が漢字検定を受験</p>   |
|          | 協働的に学ぶ                                   | <p>【一人で深めて。みんなで広げて。みんなで学びをつなぐ教室に。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合い活動・対話的な学習の充実</li> <li>・ 学習支援アプリ MetaMojClassRoom WinBird の積極的な活用</li> <li>・ 児童が主体的・協働的に学ぶために教員の指導・支援技術向上を図る<br/>                     校内研究 ※R8・R9 区教育研究指定校（国語科）</li> </ul>  |
|          | 論理的思考を高める                                | <p>【プログラミング的思考】<br/>                     プログラミング体験学習</p>   |
|          | 学習の基礎・基本の定着                              | <p>【15分間のモジュール学習の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書や新聞、英語、オンライン辞典サービス等を活用した活動（単作文、スピーチ等）</li> <li>・ 漢字や計算の習熟、MIM<sup>i</sup>の取組</li> <li>・ 小テストの計画的な実施</li> </ul>   |
|          | 情報を収集する<br>情報を選択する<br>情報を整理する<br>情報を発信する | <p>【2つの学校図書館の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「マイ辞書」の活用</li> <li>・ 学習内容と関連する図書がいつでも手元にある環境づくり</li> <li>・ 新聞を活用した学習の推進</li> <li>・ 国語科の言語活動として「調べる学習コンクール」全児童参加</li> </ul> <p>【ICT機器の効果的な活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT活用スキルの向上</li> <li>・ 写真や動画、プレゼンテーションスキルの向上</li> </ul> <p>【探究的な学習の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合的な学習の時間に「探究の時間」を設定（年間20時間程度）</li> <li>・ 学校図書館やオンライン辞典サービスを活用して、自己が設定した課題に取り組む</li> <li>・ 「調べる学習コンクール」への接続</li> </ul> |

|        |  |   |
|--------|--|---|
| 心豊かな子供 | 人間関係を形成する<br>学級・学校づくりに<br>参画する   | <p>【子供たちによる「集団をつくる活動」の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>運動会リニューアル「個の競い合い」</u> → 「全員が主役の絆づくり」</li> <li>・ 年間20回の学級会の実施</li> <li>・ 教員と高学年児童の合意形成によって発足する児童会</li> <li>・ 縦割り活動（異年齢間の活動）の充実</li> </ul> <p>【いじめは許さない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめの早期発見・早期対応</li> <li>・ いじめ防止教育、SNSルール、情報モラル教育</li> </ul> |
|        | 基本的な生活習慣を<br>身に付ける   | <p>【ルール＜マナー】</p> <p>「新・六日小のきまり」を児童の自治的活動によって定着</p>  |
|        | 異文化を理解し、<br>尊重する   | <p>【英語教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際コミュニケーション能力の向上を図る授業実践</li> <li>・ 外国人英語指導員、英語担当時間講師との連携</li> </ul> <p>【伝統・文化理解教育】</p> <p>江戸里神楽鑑賞教室、雅楽鑑賞教室、書道教室、いけばな学習 等</p>   |
|        | 自他の生命を<br>尊重する   | <p>【命を大切に作る心の涵養】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域と協働した「花いっぱい運動」</li> <li>・ SOSの出し方教育</li> </ul>  |
|        | 障害について<br>理解する   | <p>【特別支援教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユニバーサルデザイン教育の理解と実践（校内研修）</li> <li>・ 校内研修会の実施</li> <li>・ SC、SSWを活用して密な連携を図る「チーム特支」の体制づくり</li> </ul>   |
|        | よりよく生きるため<br>の基盤をつくる   | <p>【道徳科の学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「<u>目標に向けて根気よく取り組むこと</u>」を重視した授業</li> <li>・ 道徳授業地区公開講座の実施</li> </ul>   |
| 元気な子供  | <p>【仲間とともに】</p> <p>体育科ゲーム領域、ボール運動領域の授業改善、運動遊びの重視</p> <p>【自分のからだと向き合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門家を招いた「なわとび・大なわ・走り方」の出前授業の実施</li> <li>・ 「からだによいこと・わるいこと」の理解（保健学習、食育等）</li> <li>・ 水泳指導民間委託による泳力の向上</li> </ul> |   |

<sup>i</sup> 初期の「読み」の指導において最大の難関である特殊音節に焦点を当て、文字や語句を正しく読んだり、書いたりすることを目指す指導モデル。